



# 楽々亭通信

第15号  
令和3年11月1日号

発行:NPO法人没イチの会・京都

## 十月の楽々亭第13回を

### 開催いたしました

#### 『花の最後』

本願寺派布教使

安堂芳雅

今年の秋は、「あつ」という間に冬に飲み込まれてしまいました。紅葉を楽しむ時期は、うんと短くなりそうですね。

皆さん、こんにちは、安堂です。

突然ですが、滋賀県マキノ高原のメタセコイア並木をご存知ですか？韓国ドラマ「冬のソナタ」がきっかけで有名になったとてもロマンチックな散歩道です。

数年前に訪れた際は残念ながら、色づいた景色を楽しむというより、淋しくもの哀しくメタセコイアは落葉樹だったこと



を痛感したものです。なんて思い返している間にも、ポトリポトリと身を軽くしていると思うと気がありません。皆さんも紅葉狩りのタイミングには、ご注意下さい。

さて、花の見頃の終わりをあらわしたものに、「桜散る、こぼるる梅に、椿落つ。牡丹崩れて、舞うは菊なり。」という言葉があります。

なるほど、桜の散りぎわは、「桜吹雪」といわれるぐらい見事に散り吹かれます。

梅はまるで涙のようにポロポロこぼれるのですよう。

「椿落つ」、花首からポトリと落ちる椿。椿と赤穂

浪士切腹にまつわるエピソードは有名ですが、「椿落つ」とは、潔さと哀しさが入り混じった絶妙な表現です。

「牡丹崩れて」、花卉が六十枚近い牡丹は、突然バサツと花びらが崩れる。何とも勢いのある豪華な様が想像できます。

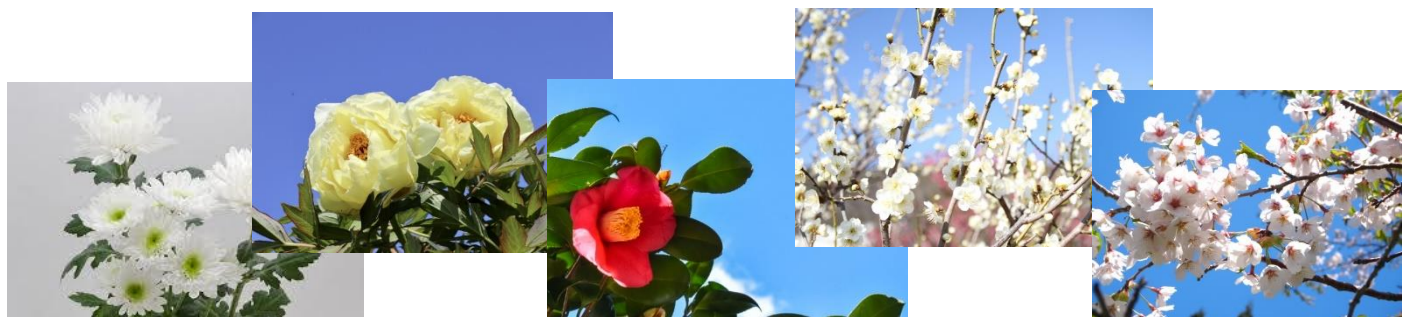
さて最後は「菊」ですが、「舞う」？どう舞うのか全く思い浮かびませんが、これはこれで美しい表現です。

このように、花の最後のすがたはそれぞれですが、私たちがまた、その「終わり」を「どのよう」にか、「どんな心持ちで」と考えるものです。

が、私たちが様々に考える「死」「終わり」は「終わりではない」と仏教は説きます。そして、親鸞聖人は「いのちあるものはすべて、仏さまのはたらきによって、お浄土にうまれるこ

とが今決まるのだから、臨終のさまの善し悪しは問題ではありません。」と教えて下さいます。

今、もうすでに、その仏さまのはたらきの中にあります。ですから、どのようにこの世のいのちを終わらせていこうとも、「仏」としての続きがあるので



## 松竹のプロデューサーとして

### その7

前の文章で終わりにしたいと思っていたところ、籠谷のおじ様が続きを書けと言われて困っていました。1週間程入院するということで断るのも悪いと思いいOKしました。

私が京都の撮影所で一人5作品をプロデュースしていました。頃の女優さん達が東京で再会した様になりました。

京都の撮影所時代は女優を連れて祇園町へ行ったりして個人としてはあまり良いことはしてなかったのですが、作品については視聴率が良く、会社もあまり文句を言わずにいました。が女優たち間の評判はあまり良くなかったと思います。

東京に異動してから、東京のマンションには女優たちが恐る恐る訪問してきました。

しかし、仕事の面では鬼平で吉右衛門を引っ張り出し、今まで一緒に仕事をした男優を皆出演させて高視聴率を上げまし

た。

小生の運の強さを皆が言っていました。が、名俳優の演技の底力を確実に掴んでいたからと思っております。

唯私の大欠点はある女優と京都から東京と7年間付き合ってきた事ですが、現在は双方ともに傷つかずに終わっています。

その女優さんは今や高級官僚の奥様におさまっているらしいです。

私も早90歳近くになり色気も素っ気もなくなり、悠々歌を歌って心をなぐさめている昨今でございます。

籠谷氏の病気が1日でも早く完治することを祈っています。

しかし現在も各TV局から種々相談が来ますがなにせすべて終わった事ですので、丁寧に断りしている次第です。

高視聴率をとった作品は  
藤田まこと京都殺人案内 必殺仕事人

山田五十鈴 必殺 親分  
高峰三枝子 必殺 親分

吉右衛門 鬼平犯科帳  
渡瀬恒彦 忠臣外伝四谷怪談

この作品は日本アカデミー最優秀賞をいただきました。

その他、私と親しくしていた山本陽子、名取裕子などは舞台に出演させて大成功を得ました。

長々と真面目に仕事をしてきました事を書き、自画自賛の馬鹿な男と笑ってください。

櫻井洋三



## 楽々亭第14回 11月の予定

11月16日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時~12時

10月に開催した場所です。

時間に変更になっています。

表玄関口から入って下さい。



## 楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。